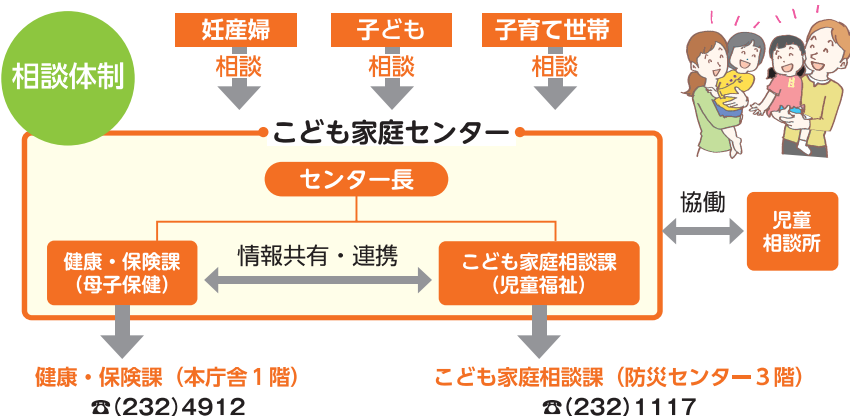


こども家庭センター



こども家庭センターでは、保健師や臨床心理士、精神保健福祉士などの専門資格を有する職員が、妊娠期から主に18歳までのこどもに関するさまざまな相談をお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。



妊娠、出産、乳幼児期の健康・子育てなどに関する業務を担当しています。

- ・母子健康手帳の交付
- ・赤ちゃん訪問
- ・子どもの発育や発達などの相談
- ・乳幼児の健康診査

子どもに関する相談や児童虐待などに関する業務を担当しています。

- ・子どもの悩みや子育てに関するさまざまな悩みの相談・支援
- ・園や学校の巡回・相談支援
- ・ヤングケアラーに関すること
- ・児童虐待に関すること
- ・子育て交流会の実施

妊娠期～出産後

- ・妊娠・出産への不安
- ・赤ちゃんの体重がなかなか増えない
- ・子育てに自信がない
- ・家族・親族のサポートが得られない



乳幼児期

- ・言葉が遅いように感じる
- ・痲癇がある
- ・初めての場所が極端に苦手
- ・発音が不明瞭
- ・こだわりが強い
- ・保育園などへの行き渋り
- ・子育てで情報や利用できるサービスを知りたい



学齢期

- ・学校生活に不安がある
- ・友達や家族との関係がうまくいかない
- ・勉強が極端に苦手
- ・不登校
- ・ゲームやスマホへの依存
- ・気持ちの切り替えが苦手
- ・周囲への暴言や暴力



など、日々の生活の中で悩みを抱えているお子さんや、子育ての中で不安を感じている保護者の方、さまざまな形で子どもにかかわっている関係者の皆さんからのご相談をお受けします。

内容に応じて、さまざまな専門職が対応いたします。まずは、ご予約のお電話を。